



国際交流員メラニーのコラム

果報は寝て待て

Gut Ding will Weile haben.
(グート ディング ヴァイル ワイレ ハーベン)



はじめまして。メラニーと言います。新しく下野市の国際交流員になります。私は日本に来ることも、皆さんと出会えることも楽しみにしていました。



私の出身地は、ドイツの西南にあるハイデルベルク市の近くです。ハイデルベルク市には大きなネッカー川やブドウ園がある山、小さなお城がたくさんあります。そして、京都にあるのと同じ名前の「哲学の道」があります。ネッカー川に沿った道で、対岸には町とお城の印象的な景色が広がっています。

私は10代の頃から外国とその文化に興味をもって、日本語を勉強する前から外国語に興味がありました。17歳のときにはスペイン語を学び、高校の最後の年には、夜、スウェーデン語の教室に通いました。イギリスの大学ではフランス語を、オランダの大学ではオランダ語を勉強しました。

日本語に興味をそそられたのは、英語の字幕で日本のテレビ番組を初めて見たときでした。テレビのキャラクターがしゃべった日本語は一言だけなのに、字幕は文章になっていました。逆に、キャラクターが結構長くしゃべったのに、字幕ではたったの2語でした。その不思議な違いがきっかけで日本語が理解したくなって、日本語を学ぶことにしました。

私にとって日本語は趣味だったので、就職してから時間があるときに勉強しました。

例えば、朝食の後にひらがなを少し勉強したり、聞き流しの音声教材を使って言葉を大声で繰り返しながら通勤したりしました。

しばらくしてから、日本語の夜のコースに通うことにしました。そこで、ワーキングホリデーを利用して1年間、日本に行くことができることを知りま

した。ワーキングホリデーには年齢制限があって、そのときの私はその年齢に近づいていましたが、日本に行く可能性について考え続けて、行くことに決めました。

ワーキングホリデーでは、まず東京から沖縄まで2か月半かけて旅行して、それからゲーム会社の翻訳者として働きながら、日本語学校に6か月間通いました。本当に素晴らしい経験でした。

ヨーロッパに帰って、日本に結びついた新しい趣味を見つけました。それは、和太鼓です。1人で鳴らすことのできる太鼓の音の大きさに、とても驚きました。



他の趣味に、マクラメがあります。紐や糸を結んだり編み込んだりして、アクセサリーやキーホルダー、ベルトや鞆などを作ることができます。

ロックダウンや自宅での隔離生活がほとんどだったこの1年半で、冬には唯一の良い思い出ができました。人生で初めて、凍った湖でアイススケートをすることができたのです。



ついに日本への入国が可能になり、下野市に来ることができて嬉しいです。

国際交流員の様々な活動で、皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

PC・スマホ
市ホームページ



TAKE FREE

広報しもつけを設置してくださるコンビニエンスストアなどのお店を募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎ (32) 8886までご連絡ください。